

先生用
ダウンロード版

ピアノ・アドベンチャー 体験レッスン

このまま
使える

先生用ガイド+生徒用テキスト



おうちでも
楽しく練習できるので、
保護者の方から喜ばれます。

(50代 福岡県)



生徒さんが
自分からどんどん
練習してくれるので
とても使いやすいです!

(30代 広島県)



カリキュラムが丁寧なので、
すごく教えやすい。

(20代 東京都)



無料

本書について

自由な想像力で「楽しく遊ぶ」レッスンを

本書は、ピアノを初めて習う幼児(4~6歳児)を対象にした、**体験レッスン(30分程度)用の特別テキスト**です。

テキストは、アメリカ生まれの人気ピアノ・メソッド『はじめてのピアノ・アドベンチャー』レベルAのアクティビティから、体験レッスンにぴったりの8つのプログラムで構成されています。

ピアノに触れたその日から、音楽の楽しさを存分に感じることができる充実した内容です。

※『はじめてのピアノ・アドベンチャー』についてはP.14をご参照ください。

ご用意いただくもの

- ・本冊子および生徒用テキスト*1
- ・キャラクターカード*2(点線で切り取ってご使用ください。)
- ・音源再生用の機器(スマートフォン、タブレット、パソコンなど)
- ・リズム楽器(オプション)
- ・小さなぬいぐるみ(オプション)

*1 生徒用テキストの追加をご要望の場合は、下記よりダウンロードしてください。



<https://www.zen-on.co.jp/pianoadventure/trial/>

*2 キャラクターカードの追加をご要望の場合は、下記よりダウンロードしてください。



https://www.zen-on.co.jp/pianoadventure/img/mfpa-character-posters_jp.pdf

動画

『はじめてのピアノ・アドベンチャー』の著者ナンシー・フェイバー先生によるレッスン・プランの動画。事前にご視聴いただきレッスンの参考にしてください。

音源

音源が必要なアクティビティの場合は、QRコードからアクセスしてご使用ください。

② さあ、ぼうけんにいこう!(拍の紹介)

生徒用テキスト P.3 レッソンの目安時間 5分程度

アクティビティの内容・目的

音楽を聴きながら、音に合わせて手や楽器をたたいたり、行進したりして、身体全体で「拍」を感じます。
ひざやピアノの蓋・椅子など身近なものを使った、鈴やカステネットなどの楽器を使った楽しいアクティビティが体験できます。
「さあ、ぼうけんにいこう!」の歌詞には、最初に覚えたピアノフレンズが登場するので、ぜひキャラクターカードを使ってレッスンしてください。

レッスンの例

*キャラクターカードや、リズム楽器などを用意します。
*このプログラムは音源を使用します。
QRコードからアクセスしてください。

1 さきほど紹介した「ピアノフレンズ」が登場する歌の音楽を聴きましょう。
よ〜く耳をすませてね!
フレンズの名前が出たら、そのキャラクターのカードを指さしてみよう!



2 次は音楽を聴きながら、ひざを叩いてみましょう。
3 今度は音楽を聴きながら、音に合わせて行進してみましょう!
まずは、その場で足踏みできるかな?



4 最後に楽器を叩いてみましょう!
先生の声に合わせて、途中で楽器を変えられるかな?

一定の速度で「拍」を際らせることが大切です。

レッスンの例

レッスンの進め方や会話の例を掲載しています。



動画



動画一覧

<https://www.zen-on.co.jp/pianoadventure/movie/>



音源



音源一覧

https://www.zen-on.co.jp/pianoadventure/listen_list/

※ プログラムごとの動画や音源は、各ページのQRコードからアクセスしてください。



体験レッスンプログラム 目次

① ピアノフレンズの紹介 …… P.4

生徒用テキスト P.2 レッソンの目安時間 5分程度

登場キャラクターの紹介をとおして、生徒と先生の自己紹介をして、生徒の好きなことを見つけます。

② さあ、ぼうけんにいこう!(拍の紹介) …… P.6

生徒用テキスト P.3 レッソンの目安時間 5分程度

音楽を聴きながら、音に合わせて手や楽器をたたき、身体全体で「拍」を感じます。

③ 100てんまんてんのポーズ …… P.7

生徒用テキスト P.4-5 レッソンの目安時間 2分程度

ピアノを弾くための正しい姿勢を、ゲームを交えながら学びます。

④ ピアノのおと …… P.8

生徒用テキスト P.6-7 レッソンの目安時間 3分程度

自由に鍵盤に触れて、ピアノに親しみます。

⑤ さあ、ひいてみよう …… P.10

生徒用テキスト P.8-9 レッソンの目安時間 5分程度

先生との連弾演奏。生徒は“問いかけ”に合わせて自由に演奏します。

⑥ ひだりて／みぎてを かこう …… P.11

生徒用テキスト P.10-11 レッソンの目安時間 3分程度

手の形をなぞって右手と左手を学びます。

⑦ きらきらぼし …… P.12

生徒用テキスト P.12-13 レッソンの目安時間 5分程度

先生と一緒に「きらきらぼし」を演奏します。

⑧ なわとびのおはなし …… P.13

生徒用テキスト P.14 レッソンの目安時間 2分程度

お話にあわせて“作曲”を体験します。



① ピアノフレンズの紹介

生徒用テキスト P.2

レッスンの目安時間 5分程度



アクティビティの内容・目的

ここではまず、『ピアノ・アドベンチャー』に登場するキャラクター（ピアノフレンズ）たちの紹介をします。

ピアノフレンズは、一緒に“冒険”する仲間です。ピアノフレンズの名前の紹介とともに、各キャラクターの好きなもの（こと）に注目します。それをきっかけに、生徒自身の好きなもの・興味のあることについて話し、生徒とピアノフレンズたちとの共通点を探してみるのも良いでしょう。



レッスンの例

*生徒と一緒に、本のイラストまたは、付属の【キャラクターカード】を見ながらおこないます。

1 今日は、一緒に体験レッスンをする仲間、「ピアノフレンズ」を紹介しましょう。

まずは、この女の子。

名前はケイティっていいです。

ケイティが手に何かを持っているね。何だと思う？
(絵の具の筆)

服が汚れないようにエプロンをしているね。

ケイティは絵を描くのが大好きな女の子です。

あなたはどうか？ お絵かきは好き？

どんな絵を描くのが好き？(生徒への質問)

ケイティは、ほかにどんなことが好きだと思う？

ケイティの後ろの絵に注目してみて！

(絵の具・ビーチボール・犬・ピアノ)

ピアノがあるね！

ケイティはピアノを弾くのが大好きなんだね！



キャラクターの後ろに描いてあるイラストに注目！

2 (次のキャラクターの紹介。キャラクターは先生が選んでも生徒が選んでもOKです)

この男の子の名前はカルロス。

カルロスが持っているのは何だろう？

(バットとボール)

カルロスのTシャツには何が描いてあるかな？

(恐竜)

カルロスが好きなものは、何かな？

(ボンゴ・ハンバーガー・滑り台・ピアノ)

カルロスもピアノが好きなのね！



3 次は双子の女の子、ミリーとマルタ。
マルタはお行儀が良い女の子で、お茶会をしたりきれいな服を着るのが好き。
マルタはほかには何が好きかな？
(花・ネックレス・バッグ・リボン・ピアノ)

もうひとりの女の子の名前はミリー。

ミリーはマルタとは反対でいつも走り回っているような元気な女の子。

ミリーの好きなものは何かな？

(ボール・ローラースケート・風船・ピアノ)

4 次はダラス。
ダラスが持っているのは何かな？
なんていうか知ってるかな？
「双眼鏡」っていうの。
遠くを見るときにつかうもの。

ほかには何があるかな？

(虫眼鏡・ロケット・地球儀・ピアノ)

5 ピアノフレンズには、ピアノの先生がいます。
これがみんなの先生、ラズルダズル先生です。
「ラズルダズル」って言える？
おもしろい名前だね。

ラズルダズル先生は何を持っているかな？

(CD・メガネ・猫・ピアノ)

6 こんどは、あなたの好きなものを先生に教えて！
どんなことでもいいですよ♪

好きなこと・興味のあることについて生徒とたくさん会話して、楽しいレッスンの雰囲気作りをしましょう！



② さあ、ぼうけんにいこう！（拍の紹介）

生徒用テキスト P.3

レッスンの目安時間 5分程度



動画



音源

アクティビティの内容・目的

音楽を聴きながら、音に合わせて手や楽器をたたいたり、行進したりして、身体全体で「拍」を感じます。

ひざやピアノの蓋・椅子など身近なものを使ったり、鈴やカスタネットなどの楽器を使った楽しいアクティビティが体験できます。

「さあ、ぼうけんにいこう!」の歌詞には、最初に覚えたピアノフレンズが登場するので、ぜひキャラクターカードを使ってレッスンしてください。

レッスンの例

*キャラクターカードや、リズム楽器などを用意します。

*このプログラムは音源を使用します。
QRコードからアクセスしてください。

- 1 さきほど紹介した「ピアノフレンズ」が登場する歌の音楽を聴きましょう。
よ〜く耳をすませてね!
フレンズの名前が出たら、そのキャラクターのカードを指さしてみよう!



キャラクターカード

- 2 次は音楽を聴きながら、ひざを叩いてみましょう。
- 3 今度は音楽を聴きながら、音に合わせて行進してみましょう!
まずは、その場で足踏みできるかな?



- 4 最後に楽器を叩いてみましょう!
先生の声に合わせて、途中で楽器を変えられるかな?

一定の速度で「拍」を感じるのが大切です。

さあ、ぼうけんにいこう!
おんがくの「はく」って なあに?

CDにあわせて、ひざのうたで、おなじ はやまで「はく」をたたくてみよう。
がしをききながら、いっしょにうたうたててね!

うたおう
ほくたち ピアノのともだち!
マルタとミリーは ふたごちゃん
カルロス、ダラスに、ケイティも
ラスルダズルせんせいと いっしょに!

はくをたたきながら
1, 2, 3, さあレッツゴー!
ミリー 2 3 4 5 6 7 8
マルタ 2 3 4 5 6 7 8
カルロス 2 3 4, ダラス 2 3 4,
ケイティ 2 3 4, ラスルダズルせんせい
みんなのタップ

りょうでて
ドラムのように
たたこう
じゃんびは ほんたんだ、イエーイ!
ピアノ・アドヴェンチャー!

みんなのししんをはってね!

*地方へ1票投票するの楽しみはありません。当選のバーンにのみ合わせて選んでください。

③ 100 てんまんてんのポーズ

生徒用テキスト P.4-5

レッスンの目安時間 2分程度



アクティビティの内容・目的

ピアノを弾くための姿勢を学びます。
座り方、手の置き方、手の形を順に確認していき、
最後は「10秒ゲーム」にチャレンジします。

ゲーム感覚で、ピアノを弾く正しい姿勢を身につけます。

レッスンの例

*小さなぬいぐるみがあれば、ご用意ください。

- 1 それではピアノの椅子に座りましょう。
前の方に座ります。
背中をまっすぐに伸ばして。
- 2 次は、腕をまっすぐに伸ばしてみよう。
手はグーの形に。
ピアノの蓋に、手の関節が届くかな？
(椅子を動かして距離を調節)

- 3 鍵盤の上に、手を置きます。
手は軽く丸めた形です。
腕と鍵盤が同じ高さになっているかな？
(椅子の高さを調節)
- 4 背中まっすぐのままかな？
これがピアノをひくときの「100てん まんてん！」のポーズです。

先生が10秒数える間、この良い姿勢のままにいられるかな？
(生徒の頭に小さなぬいぐるみを置いて、10秒数えます)



④ ピアノのおと

生徒用テキスト P.6-7

レッスンの目安時間 3分程度



アクティビティの内容・目的

ピアノには「白鍵」と「黒鍵」があること、音には「小さな音」「大きな音」「短い音」「長い音」があることを学びます。

自由に鍵盤に触れて、ピアノに親しみましょう。

音の種類を動物に例えながら説明すると、生徒が音を想像しやすくなります。

レッスンの例

1 ピアノの鍵盤の白いところを「白鍵」といいます。そして黒いところを「黒鍵」といいます。

(生徒用テキスト6ページの★を指しながら)

この黄色の★は白鍵にあるかな？

黒鍵にあるかな？

(答えのあと、先生と一緒に「白鍵」を自由に弾きます。)

それじゃ、こちらの★はどうか？

どっちの鍵盤にある？


(答えのあと、先生と一緒に「黒鍵」を自由に弾きます。)



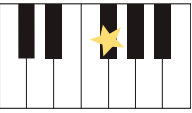
ピアノのおと

けんぼんにしたしむ


① しろいけんぼん【はっけん】をひいてみよう。いろいろなばしよでひいてみてね。



② くりけんぼん【こっけん】もひいてみよう。いろいろなばしよでひいてみてね。



③ ピアノのふたを、やさしくコンコンとノックしよう。ピアノのいずもやってみてね。



ノックしながらあなたのなまえをいえるかな？

④ すきなけんぼんで、ちいさなおとをならしてみよう。



⑤ とってもみじかいおとを、だしてみよう。ゆびでけんぼんのうすをすばやくジャンプしてね！



⑥ すきなけんぼんで、おおきなおとをならしてみよう。



⑦ ながーいおとを、だしてみよう。おとがかんぜんになまてしるうまで、けんぼんをおさえつけてね。なんびようかからかほってみよう！



⑧ タップはどこにいるかな？

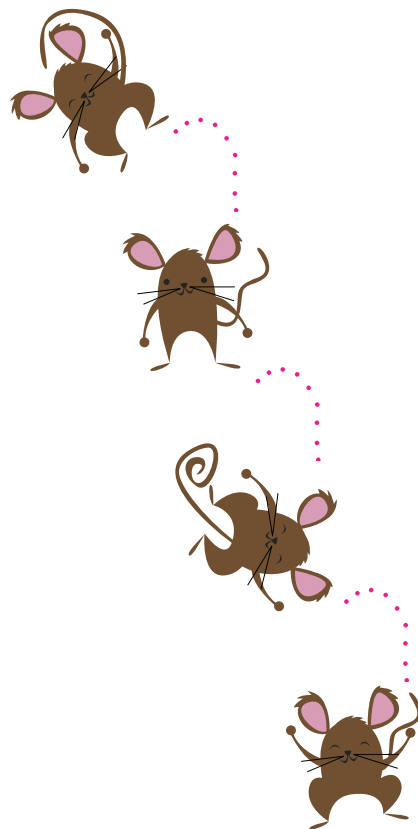
2 3匹のひよこがいるね。ひよこの鳴き声って聞いたことある？
小さな声かな？ 大きな声かな？
ピアノでひよこの“小さな鳴き声”を弾いてみましょう。（小さな音で自由に弾く）



3 このトラの鳴き声はどんな声かな？
ピアノでトラの“大きな鳴き声”を弾いてみましょう。（大きな音で自由に弾く）



4 次は、このちっちゃなネズミたちを見て。
ピョンピョンと跳び回っているみたいだね。
短い音を弾いてみましょう。
（短く軽い音を自由に弾く）



5 最後は長～いへび。
ピアノでへびみたいに長～い音を弾こうね。
先生が「へび！」って言ったら、ピアノを弾いて。
弾いたら、そのまま鍵盤をおさえてね。
音が聞こえなくなるまでの時間を計ってみます。

それじゃいくね。「へび！」
鍵盤はおさえたままね。
まだしっかり聞こえるね。
（しばらくして）
どう？ 聞こえる？
（音が完全に消えるまで耳をすませる）
もう聞こえないね。
音が聞こえなくなるまで●秒かかったよ。
（実際にかかった秒数を言う）



⑤ さあ、ひいてみよう

生徒用テキスト P.8-9

レッスンの目安時間 5分程度



アクティビティの内容・目的

歌(問いかけ)に合わせて、生徒が音で“お返事”をする、連弾の即興演奏です。

【ピアノの おと】で弾いた「白鍵」「黒鍵」「小さな音」「大きな音」「短い音」「長い音」が登場します。生徒は歌詞をよく聞いてピアノを弾きましょう。

難しく思われがちな即興演奏も、連弾なら楽しくチャレンジできます！

レッスンの例

*音源を使用する場合は、QRコードからアクセスしてください。

- 1 こんなふうに二人でピアノを弾くことを「連弾」といいます。
歌をよく聞いて、歌詞に合わせてピアノを弾いてみてね。
曲の最後には、おじぎをしましょう。



さあ、ひいてみよう
れんだんで“そっきょうえんそう”

①せんせいの うたにあわせて ひいてみよう。
うたをよく聞いて、おとでおへんじてね!

②ひきあわつたら、ピアノのえを○でかこもよう。
なんかないも ひいてね!

先生のパート
たのしく

① 白鍵を長い音で弾く (2つのおまきでもよい)
② 大きな音を弾く

ちいさなおと おおきなおと ながいおと みじかいおと

③ 一緒にピアノの音をよく聴く
④ 一緒にピアノの音をよく聴く

⑤ 弾きながら
⑥ この調子でもよい!

⑦ 弾きながら
⑧ 弾きながら

⑨ 弾きながら
⑩ 弾きながら

⑪ 弾きながら
⑫ 弾きながら

⑬ 弾きながら
⑭ 弾きながら

⑮ 弾きながら
⑯ 弾きながら

⑰ 弾きながら
⑱ 弾きながら

⑲ 弾きながら
⑳ 弾きながら

㉑ 弾きながら
㉒ 弾きながら

㉓ 弾きながら
㉔ 弾きながら

㉕ 弾きながら
㉖ 弾きながら

㉗ 弾きながら
㉘ 弾きながら

㉙ 弾きながら
㉚ 弾きながら

㉛ 弾きながら
㉜ 弾きながら

㉝ 弾きながら
㉞ 弾きながら

㉟ 弾きながら
㊱ 弾きながら

㊲ 弾きながら
㊳ 弾きながら

㊴ 弾きながら
㊵ 弾きながら

㊶ 弾きながら
㊷ 弾きながら

㊸ 弾きながら
㊹ 弾きながら

㊺ 弾きながら
㊻ 弾きながら

㊼ 弾きながら
㊽ 弾きながら

㊾ 弾きながら
㊿ 弾きながら

㊿ タップを あつげられるかな?

⑥ ひだりて／みぎてを かこう

生徒用テキスト P.10-11

レッスンの目安時間 3分程度

アクティビティの内容・目的

手の形をなぞって、右手と左手を学びます。

※指と指番号の結びつけは任意です。

生徒の年齢に応じておこなってください。

レッスンの例

- 1 まずは、手を出してください。
両方の手ね。
- 2 今度は、両手をこの四角の中に置きましょう。
(生徒の左手を生徒用テキストのP.10に、右手をP.11に置いてください)
- 3 どっちが右手かわかるかな？
タップ(ホタル)がいるほうが「右手」だね！
反対の方が「左手」です。
- 4 右手をあげてみて！
ハイ、元気よくあがったね。
今度は左手をあげて！
- 5 それじゃ、自分の手の形をなぞってみましょう。



ひだりてを かこう
ひだりての ゆびばんごう

① しかくのなかに ひだりてをおいて、でのかたちを なぞろう。
② ゆびわに すうじがかかっているよ。ゆびとあうように、せんでつなごう。
ヒント：1ばんのゆびに、2つのゆびわがあるかもしれないよ。

みぎてを かこう
みぎての ゆびばんごう

① しかくのなかに みぎてをおいて、でのかたちを なぞろう。
② ゆびわに すうじがかかっているよ。ゆびとあうように、せんでつなごう。

7 きらきらぼし

生徒用テキスト P.12-13

レッスンの目安時間 5分程度



アクティビティの内容・目的

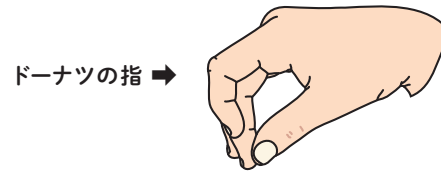
「きらきらぼし」の曲を弾きます。
 まずは本に描かれている星のイラストに指を置いて、“音の動き”を確認します。
 ピアノで曲を弾く前に、[同じ音が繰り返される／音が上がる／下がる]を1つずつ丁寧にみていくことで、スムーズに演奏できるようにします。

身体を使って、音の高低を体験するのもオススメ!

レッスンの例

*伴奏音源を使用する場合は、QRコードからアクセスしてください。

- 1 「きらきらぼし」の歌は知ってるかな？
 ピアノで弾く前に、まずは本のお星さまの上で弾いてみましょう。
 こんなふうに、指でドーナツの形をつくって。



- 2 お星さまが2つずつ並んでるのがわかるかな？
 最初の2つは赤いお星さまだね。
 それじゃ、歌いながら“ドーナツの指”でお星さまを指さしてみましょう。
 (左手も同様に)
- 3 さあ、それではピアノで「きらきらぼし」を弾きましょう!
 先生と一緒にやってみようね!
 ※先生がガイド役をつとめます。
 生徒の腕をとって、次の音へと導いてください。
 「きらきらぼし」の伴奏音源があるので、ぜひ合わせて演奏してみてください。



きらきらぼし
おなじおとのくりかえし

① ミリとでみたらから
 ① うたいながら お星さまを ゆびさしてあげて。
 ② つぎは、せんせいが3つのゆびで このまよを ひいてくれるよ。
 まみは、みぎの3-1でドーナツのかたちをつくらせて、せんせいのてのうえにおいてみよう！ せんせいのてのうごきを かんじるかな？
 ③ こんどはひとりです！ まずは みぎで、それから ひだりてで ひいてみよう。
 まずは このページだけ やってみよう。

2つのこっけん 3つのこっけん

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑫ 音階練習用紙により、ダウンロード版のテキストには歌詞は掲載していません。

伴奏音源 (生徒は真ん中の音域で弾きます)

さいしよのページをもういちどひいておもしろう

⑧ なわとびのおはなし

生徒用テキスト P.14

レッスンの目安時間 2分程度

アクティビティの内容・目的

“作曲”を体験するアクティビティです。
作曲といっても難しいものではなく、生徒はお話に合わせてピアノを自由に弾きます。
楽しみながら、自分だけの特別な曲を演奏できます。

はじめての“作曲”を、自由に楽しく体験!

レッスンの例

1 体験レッスンの最後に「作曲」をしてみましょう!
作曲というのは、曲をつくることです。
今日は、このお話にあった曲を自由につくってみようね。

2 「なわとびのおはなし」です。
本のイラストをよくみてね。
ケイティが縄跳びを跳びながら、階段をぴよんぴよんと下りていきます。

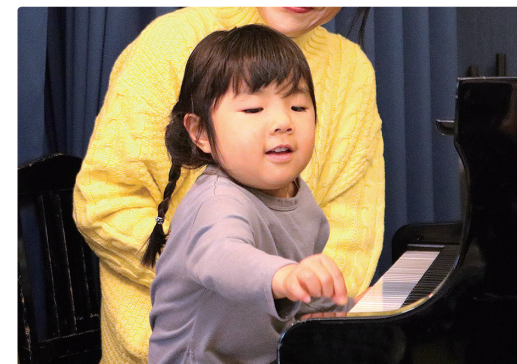
まず、この場面にぴったりな音をつくってみよう。
「階段を下りてくる」場面なので、高い音から低い音に向かって弾いてみよう。
縄跳びで跳んでいるように弾いてみて!

3 次は、ケイティが太陽の下で縄跳びをしながらバスを待っています。

バスを待っている間、好きな音を8回弾いてみて! 同じ音でやってみよう。

4 そこへ、学校へ行くバスがやってきました!
ケイティは、急いで階段をのぼってカバンを取りに行きました。

急いで階段を上るように、ピアノの鍵盤をすばやく上にのぼってみましょう。



ぜひ、お話のつづきもつくってみましょう!

このおはなしにぴったりなおとをつくらせてみよう。

なわとびのおはなし

たかいおとで おはなしをつくらう

みぎて 3-1ドーナツのゆびで ひこう。

ケイティ が をとびながら をぴよんぴよんとおりていこう。

たかいおとから、なわとびをとぶようにおりていこう。

は のしたで、なわとびをしながら をまっているよ。

すきなおとを おかいひこう。なわとびをとぶようにおなじばしよで ひいてね。

そこへ へいく がやってきたよ。

「あ、バスがきた!」 は、いそいで をのぼって をとりにいったよ。

ちとつづってみよう

このおはなしのつづきをつくらったり、ほかのおはなしをつくらせてね!

おしまい

○ 『はじめてのピアノ・アドベンチャー』とは

楽譜を「読む」、音を「聴く」、ピアノを「弾く」力を育てると同時に、生徒の想像力、創造力、音楽性をも養う総合的なピアノ・メソッドです。

徹底的に「子ども目線」

このメソッドは、子どもたちが何に興味を持ち、どんな言葉を理解し、どのように考え・行動するのかを研究してきた著者フェイバー夫妻の指導理論をもとにつくられています。

遊び心に満ちたアクティビティを織り交ぜながら、ひとつの課題を様々な角度で丁寧に繰り返し学習していくカリキュラムにより、子どもたちの理解を深め、偏りのない音楽能力を着実に身につけていきます。

付属CDで音楽の楽しさを体感!

このシリーズの魅力は「楽しさ」。レッスン・ブック付属CDは、ディズニー音楽やミュージカルのような心躍る楽しい内容で、子どもたちの心を魅了します。CDと一緒に歌ったり弾いたりすることで、クラシック音楽だけではなく身につかないノリやリズム感を、楽しみながら自然と身につけることができます。

シリーズの特長

- 1 『見る』『聴く』! 知覚能力の発達を促す!
- 2 将来につながる! 音楽的なテクニックを身につける!
- 3 付属CDで、これまでにないリスニング体験!
- 4 子どもの好奇心をくすぐる! 自発性や創造性も育む!
- 5 多様な音楽ジャンルに触れて、音楽性を高める!
- 6 作曲家と音楽史に親しむ!
- 7 先生が教えやすい! 使いやすい!!



レベルA

プレ・リーディングから始める

ピアノを弾く時の基本的な姿勢や、手や腕の使い方を学びます。五線を用いない読譜(プレ・リーディング)から始め、白鍵と黒鍵の認識、拍、4分音符・2分音符・全音符、音名[ドレミファソラシ]などを学びます。

子どもが理解しやすい言葉、イラストで手や腕の使い方を学ぶ

レベルB

五線で読譜力をつける

大譜表の導入により、五線を用いて読譜を行います(ハ音記号のドからト音記号のソ)。順次進行を用いた曲を繰り返し弾くことで、五線に親しみます。また、メロディーのパターンに注目させて、読譜力を養っていきます。

様々な方法で、“譜読みのコツ”を習得!

レベルC

音楽的な演奏を身につける

順次進行に続いて跳躍進行を導入し、さらに音域を広げて新しいポジションを学びます。これまでの学習内容を復習しながら、ペダル奏や両手奏を用い、クラシックや民謡、ブルギなど様々な音楽ジャンルを体験し、音楽性を高めます。

演奏表現のバリエーションを増やす!

11 くらねこミッチーの まあるいせなか
 テクニック: じゅうなんなくび

まあるいせなかで
 ジャンプして
 ゆびきき ちゅくちゅ

レッスン・ブック A P.29より

12 みぎでの にじ
 テクニック: しなやかなてびのうごき

みぎでひく
 のぼって
 のびて
 のびて
 のびて
 のびて
 のびて

レッスン・ブック A P.31より

トおんきごうのレ
 トおんきごうのレは、ちよとびににけいで。
 せい、はげまいた!

7 おふるのじかん!

レッスン・ブック B P.22より

モーツァルトの パターンあそび

パターンを数回演奏しよう!

レッスン・ブック B P.28より

ほしのひかるよぞら 24

♪ ほしのひかるよぞら

レッスン・ブック C P.46より

チャイコフスキーのワルツ の5ほんゆびスケール

レッスン・ブック C P.60より

著者プロフィール



ナンシー・フェイバー
 Nancy Faber

全米音楽教育者連盟(MTNA)の最優秀作曲賞を受賞(『ピアノと弦楽四重奏による《テネシー組曲》』)。ナンシー・フェイバーの作品は、これまでテレビやラジオで放送されるのみならず、世界中のピアノ発表会でも演奏されている。作曲をジョン・タワー、ウィリアム・アルブライト、チャールズ・ルジェロ、ニコラス・マウに師事。イーストマン音楽院、ミシガン州立大学でピアノを学び、同校より2015年に、優秀卒業生として表彰された。



ランドール(ランディー)・フェイバー
 Randall Faber

ピアニスト、教育者として、アジア、カナダ、全米の大学から特別講師として招聘されており、全米音楽教育者連盟(MTNA)、ピアノ・ペダゴギー世界学会、鍵盤楽器ペダゴギー全米学会などでマスター講師を多数務めた。また、スタインウェイ・アーティストであり、全米、カナダ、アジアなどでリサイタルを行っている。ミシガン大学から3つの学位を取得し、ヴァンダービルト大学から人間発達教育科学の博士号を授与されている。

シリーズ一覧

幼児向けシリーズ

はじめてのピアノ・アドベンチャー

My First Piano Adventure

4～6歳程度



レッスン・ブックA



ライティング・ブックA



レッスン・ブックB



ライティング・ブックB



レッスン・ブックC



ライティング・ブックC

ブックCを修了した後は
レベル1へ進みます。

ベーシック・シリーズ

ピアノ・アドベンチャー

Piano Adventure

6～11歳程度



導入書



レベル1



レベル2A



レベル2B



レベル3



レベル4&5

Copyright © 2006 by Dovetree Productions, Inc. c/o FABER PIANO ADVENTURES
 This Translation Copyright © 2018 by Dovetree Productions, Inc.
 This Edition published and distributed by Zen-On Music Co., Ltd. in cooperation with the Hal Leonard Corporation
 International Copyright Secured. All Rights Reserved. Printed in Japan.
 Art Direction: Terpstra Design, San Francisco, CA
 Illustrations: Lisa Perrett, Charleston, SC